

2015年08月10日

ランクセス、2015年度第2四半期の業績を発表

堅調な第2四半期を受けて2015年度の業績予測値を上方修正

ランクセス株式会社

- 2015年度通年の業績予測値：特別項目調整前 EBITDA は 8 億 4,000 万ユーロから 8 億 8,000 万ユーロの範囲へ上方修正
- 2015 年度第 2 四半期の連結売上高：約 21 億ユーロ（前年同期比約 4%増）
- 特別項目調整前 EBITDA：2 億 7,000 万ユーロ（前年同期比 13%増）
- 純利益：8,700 万ユーロと大幅増（前年同期比約 58%増）
- ゴム事業のカーブアウト（事業分離）プロセスに着手

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス (LANXESS) は、2015 年度第 2 四半期の業績を発表しました。堅調な第 2 四半期を受けて、ランクセスは 2015 年度通年の業績予測値を再び上方修正し、特別項目調整前 EBITDA は 8 億 4,000 万ユーロから 8 億 8,000 万ユーロとしました（前回予測値：8 億 2,000 万ユーロから 8 億 6,000 万ユーロ）。

ランクセスの CEO であるマティアス・ツァハトは、次のように述べています。「ランクセスは、順調に回復基調を歩んでいます。第 2 四半期は、全部門が貢献したことで業績が向上しました。堅調な業績結果および事業再構築プログラムの迅速な実施に基づき、ランクセスは、通年の業績が前回予測を上回ると見えています」

第 2 四半期の連結売上高は前年同期比約 4.3%増の約 21 億ユーロ（前年同期：20 億ユーロ）となりました。販売量の増加と為替の有利な変動が、原料価格の低下に伴う製品売価の値下げ分を相殺する以上の効果を与えました。

特別項目調整前 EBITDA は、前年同期比 13%増の 2 億 7,000 万ユーロ（前年同期：2 億 3,900 万ユーロ）となりました。これは主に販売量の増加、事業再構築によるコスト削減、為替の有利な変動（特に米ドル高）が後押ししたことによります。その結果、特別項目調整前 EBITDA マージンは 12.8%（前年同期 11.8%）と増加しました。

純利益は前年同期比 58.2%増の 8,700 万ユーロ（前年同期：5,500 万ユーロ）と大幅に増加しました。業務運営の効率化と固定資産の売却益がこの増加に貢献しました。

設備投資額は大幅に削減

純金融負債は約 14 億ユーロで、2014 年末時点とほぼ同レベルとなりました。アジアにおける主なプロジェクトが完了し、設備投資額は、前年同期の 1 億 5,400 万ユーロから 7,300 万ユーロと半分以下に減少しました。CFO のミハエル・ポンツェンは次のように述べています。「事業再構築プロセスの一環で実施された財務基盤の強化の効果が現れています。これが、格付け機関であるムーディーズとスタンダード&プアーズによって評価され、両機関はランクセスの投資評価を安定的見通しと確認しました」

事業分野別の業績

パフォーマンスポリマーズ部門の売上高は、前年同期比 3.5%増の約 11 億ユーロ(前年同期:10 億ユーロ)となりました。同部門に影響を与えた主な要因は、販売量の増加、為替の有利な変動、原料価格の低下に伴う製品売価の値下げが挙げられます。特別項目調整前 EBITDA は、前年同期比 22.1%増の 1 億 4,900 万ユーロ(前年同期:1 億 2,200 万ユーロ)となりました。

アドバンスト中間体部門の売上高は、ほぼ全ての顧客市場において継続する堅調な需要が牽引し、前年同期比 3.1%増の 4 億 6,800 万ユーロ(前年同期:4 億 5,400 万ユーロ)となりました。特別項目調整前 EBITDA は、前年同期比 2.6%増の 8,000 万ユーロ(前年同期:7,800 万ユーロ)となりました。

パフォーマンスケミカルズ部門の売上高も大変好調で、前年同期比 6.8%増の 5 億 5,300 万ユーロ(前年同期:5 億 1,800 万ユーロ)となりました。特別項目調整前 EBITDA は、前年同期比 35.8%増と大幅に増加し 1 億 1,000 万ユーロ(前年同期:8,100 万ユーロ)となりました。同四半期における原料価格の低下、為替の有利な変動、コスト削減が特に増益に貢献しました。

事業再構築プログラムは予定通り

昨年より着手している3段階の事業再構築プログラムは予定通り進んでいます。第1段階の「事業部および管理部門の組織再構築による競争力強化」は順調に完了し、第2段階の「製造および営業とサプライチェーンにおける競争力強化」にも着手しています。これには、エチレン・プロピレンゴム(EPDM)とネオジウム触媒ポリブタジエンラバー(Nd-BR)の製造ネットワークの最適化が含まれています。

同プログラムの第3段階は、「事業ポートフォリオの競争力強化」に注力し、特にゴム事業での連携を図ります。ツァハトは次のように述べています。「現在、ランクセスはこれに関して建設的な話し合いを進めており、今年の下半期には具体的な結果を得ることができると見えています」

ランクセスは、ゴム事業をカーブアウト(事業分離)し、ランクセスグループ内に設立する法的に独立した新会社へ移行するプロセスを開始しました。「このようにして、ゴム事業の提携に向けた環境整備に務めています」と、ツァハトは述べています。新会社は、20 の製造施設と約 3,700 名の

従業員を擁する、タイヤ&スペシャリティーラバーズ(TSR)およびハイパフォーマンスエラストマーズ(HPE)の両ビジネスユニット、そしてこれらを支える管理部門から構成される予定です。

2015 年度第 2 四半期 主要データ(単位:100 万ユーロ)

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	変動率 (%)
売上高	2,019	2,105	4.3
特別項目調整前EBITDA	239	270	13.0
特別項目調整前EBITDA マージン (%)	11.8	12.8	
純利益	55	87	58.2
1株あたり利益(EUR)	0.63	0.95	50.8

#

これは、ドイツ・ケルンで8月6日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて:

ランクセスは、世界 29 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2014 年の総売上は 80 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 16,300 人、世界中に 52 の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のワールド・インデックス(DJSI World)とヨーロッパ・インデックス(DJSI Europe)および「FTSE4Good」の構成銘柄です。

ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statements):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の”プレスリリース”項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://multimedia.lanxess.com> (英語) ランクセスのウェブマガジンは下記をご覧ください。
<http://webmagazine.lanxess.co.jp>

ランクセスの Facebook、Linkedin、Twitter、Youtube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

http://www.twitter.com/LANXESS_JP (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/LANXESSTV> (英語)

(2015-00037J)